



目的別/1日研修

Revised

法令の読み方・考え方

法令解釈能力を身につける

▶ 本研修の概要とねらい

- ① 法令や条例を正しく解釈し、適切に運用できるようになる。
- ② 法制執務の基礎的な知識・技術を習得する。

▶ 主なコンテンツ

法の機能、法の種類、法の解釈(概論)、わが国の法令の体系、憲法と法令、法と条例・規則、法令の解釈に当たっての基本姿勢、条例の制定過程、議会との関係、住民の意識の把握、罰則規定とは、など(詳細は裏面のタイムテーブルをご参照ください)。

▶ 演習/実習の内容

判例に基づいた事例研究 他

▶ 受講対象(推奨)

総務課、庶務課、法制課、法規課、文書課などに携わる職員

▶ 講師からの一言

法律による行政の原則の下、行政職員として法を意識して職務を推進してゆかなければなりません。住民の利益につながる視点に立って、法律、条例等を解釈し、適用・運用することは、住民からの信頼関係につながるのではないのでしょうか。

法に対する苦手意識を払拭し、法を使いこなす仕事のやり方の醍醐味を体感していただきたいと思います。



一般社団法人 日本経営協会講師
田鹿 俊弘(たじか としひろ)

1977年草津市役所入職。政策推進課長、議会事務局次長、総務部理事を歴任。在職中は文書・契約事務、地方自治法、法制執務、議会運営・選挙事務、行財政改革など多岐にわたるテーマでの職員研修を指導。退職後、独立し研修講師として活躍中。

公務員倫理、問題解決、政策法務、政策形成、地域活性化のための政策形成、法的思考力養成などのテーマで出講中。

事院式監督者研修(JST)基本コース指導者認定書を取得。

元公益財団法人草津市コミュニティ事業団理事長、日本地方自治学会員。

本講師の他の研修

- a. 公務員倫理
- b. 議会対応
- c. 政策形成

法令の読み方・考え方

1日研修タイムテーブル案

研修テーマ	主なコンテンツ
1. 法とは何か 2. 地方分権時代の自治立法 3. 法令の解釈	<p>☞法の機能、法の種類、法の解釈(概論)、わが国の法令の体系、憲法と法令、法と条例・規則</p> <p>☞なぜ自治体職員は法を学ばなければならないのか、地方分権による行政施策の変化、法による政策の実現、政策法務への展開</p> <p>☞法令の解釈に当たっての基本姿勢、条例の制定過程、議会との関係、住民の意識の把握、罰則規定とは</p>
昼食	
4. 事例研究① (1)官報、公報を読む (2)法令の成立、公布及び施行 (3)法令の周知期間と適用 (4)法令用語 5. 事例研究② (1)判例研究 (2)特色ある条例の研究 まとめ	<p>☞演習・グループ討議 グループ討議を通じて日頃の問題を解決し、より実務に活かせる知識とノウハウ取得の場とする。</p> <p>☞演習・グループ討議 グループ討議の場で日頃の問題を解決し、より実務に活かせる知識とノウハウを取得する。</p>

■本研修を受講した研修生の感想

- ◆法令について漠然とした苦手意識を持っていたが、改めて学び直すことで、職務に対して自信が持てた。
- ◆事例研究の時間が十分にあったので、実践的な研修になりました。

■本研修コーディネーター担当者からのワンポイントメッセージ

- ◆草津市役所にて政策推進課長を務めた経験があり、法的思考に精通した講師です。

本研修に関するお問い合わせ

一般社団法人 日本経営協会 関西本部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4(大阪科学技術センタービル)
電話 06-6443-6925 FAX 06-6441-4319
URL <http://www.noma.or.jp>